

学校生活のようす 2月28日(月)～

6年生の授業見学【2月28日】

楡形中学校には2人の教頭先生がいますが、この日は2人揃って6年生の授業の様子を見に来てくれました。(授業は算数でした)多くの6年生が楡中に進学するので、実際に子どもたちのようすを見て、来年の1年生の担任の先生に伝えてくれるそうです。これも小中一貫教育の取組のひとつです。



卒業式の練習が始まりました【6年・5年】

3月も第2週となり、卒業式までいよいよ残りあとわずかとなってきました。今週から6年生は体育館で卒業式の練習を始めています。コロナの感染がなかなか収束の兆しを見せない中、感染症対策を重視しながらの練習となりますが、3月18日には6年生全員が揃って卒業式を挙行できることを願っています。



こちらは5年生の練習風景。真剣さが伝わってきます。



昔の道具体験会【3年・社会】



当初は八田地区のふるさと文化伝承館に伺って実施する予定だった3年生の「昔の道具体験会」ですが、コロナの影響でバスが使えなくなり、伝承館での学習はできなくなってしまいました。それでも何とか「実物を使った授業を…」とお願いしたところ、市文化財課の保阪さんがたくさんの昔の道具をもって、学校に来てくれました。



たくさんの道具を多目的室に並べ、説明をしてくれたあと、一部の道具については実際に体験をさせていただきました。「百聞は一見に如かず」の諺どおり、子どもたちは実物を見て、実際に触れることで、実感を伴ったより深い理解につながったようです。個人的にはワープロや携帯電話が「昔の道具」として飾られていたことに、軽いショックを受けました…。



当日紹介された道具の数々です。懐かしいものや、現在でも使われていそうなものまで様々です。



啓蟄（けいちつ）を過ぎ、今週は暖かい日が増えてきました。校内を見ても、梅の花が咲いたり、チューリップの芽が大きくなってきたり…いろいろなところで春の訪れを感じられるようになってきました。いよいよ来週末は卒業式！巣立ちの春はもうそこまで近づいています。

